

令和4(2022)年度		年間授業計画		
教科・科目	保健体育		保健	1 単位
対象学年・組	2年生		必履修	
教科書 (出版社)	最新高等保健体育(大修館書店)		最新高等保健体育ノート	
学習目標	<p>(1) 健康・安全に関する基本的な知識を理解し、総合的な認識を高める。</p> <p>(2) 人間諸活動が自然を破壊し、人間の健康に悪影響を与えていることを理解する。</p> <p>(3) 生涯を通じて健康で生き甲斐のある人生が過ごせる意識と実践の基本を身に付ける。</p>			
学期	予定 時数	単元	指導内容	具体的な指導目標
1	前半	生涯を通じる健康	思春期と健康	生涯の各段階で様々な健康問題に会うことを理解するとともに、思春期である今の心や体をよく理解し、適切に行動する。
			性への関心・欲求と性行動	
	妊娠・出産と健康			
	後半	生涯を通じる健康	避妊法の選択・人工妊娠中絶	生涯の各段階で様々な健康問題に会うことを理解するとともに、家族計画や中高年期を健やかに過ごすための取り組みをよく理解し、適切に行動する。
	加齢と健康			
	保健サービスとその活用			
2	前半	生涯を通じる健康	医療サービスとその活用	中高年期においていずれで会うであろう健康問題や、それぞれの段階で必要となる保健・医療機関の活用方法について学ぶことで、生涯を通して健康を意識する能力を身に付ける。
			健康で安全な社会づくり	
	大気汚染と健康			
	後半	社会生活と健康	水質汚濁・土壌汚染と健康	健康にかかわる環境について学ぶことは、健康な生活を営むために、そして社会全体の健康のためにも大切なことと理解する。
	環境汚染を防ぐ取り組み			
	ごみ処理と上下水道の整備			
3	9	社会生活と健康	食品の安全を守る活動 働くことと健康 働く人の健康づくり	社会人として、家庭を築くものとして健康の意識を高める。
評価の観点 (評価基準)	個人成績を評価の基準とし、授業を受ける態度、取り組みを評価の参考にする			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 学期末に考査の実施(3回)の個人成績を反映する レポート、発表形式の内容も評価の参考に加える 			
学習の手引き	グループ活動の中において、テーマに応じた話し合いを積極的に行い、教材に関心を持つ			
授業担当者	植田穰、松岡悠貴、松村拓人			